



国立大学法人

琉球大学 琉球大学Student Branch

令和5年度 会長：溝口裕之、副会長：谷川友哉、会計：仲泊明徒

会員:6名 顧問:1名

設立趣旨

電気電子工学は、現代社会を支える重要な分野であり、これらを支える技術者・研究者の教育として大学は重要な機関である。この時期に社会で活躍する先輩方や研究者の意見を聞く場を設け、学生の工学技術者としての意識を向上させる。

省エネチャレンジカップへの参加



第4回 省エネチャレンジカップ表彰式

昨年度、沖縄県内閣総合事務局主催の省エネチャレンジカップに案を提出しました。沖縄の気候、風土に合った省エネ対策を考え、応募したSBメンバー8名のうち3名が入賞。さらに、そのうちの1名が優秀賞を受賞した。今後も、研究だけでなく日々の生活の中でどのように省エネを行うのかを考えていきたいと思ひます。

これまでの活動

- (第75回)電気・情報関係学会九州支部連合大会にて論文発表
- 令和4年度 電気学会九州支部沖縄支所講演会にて運営支援および論文発表
- 講演会の開催(「様々な分野に広がるFPGAへの要求」)

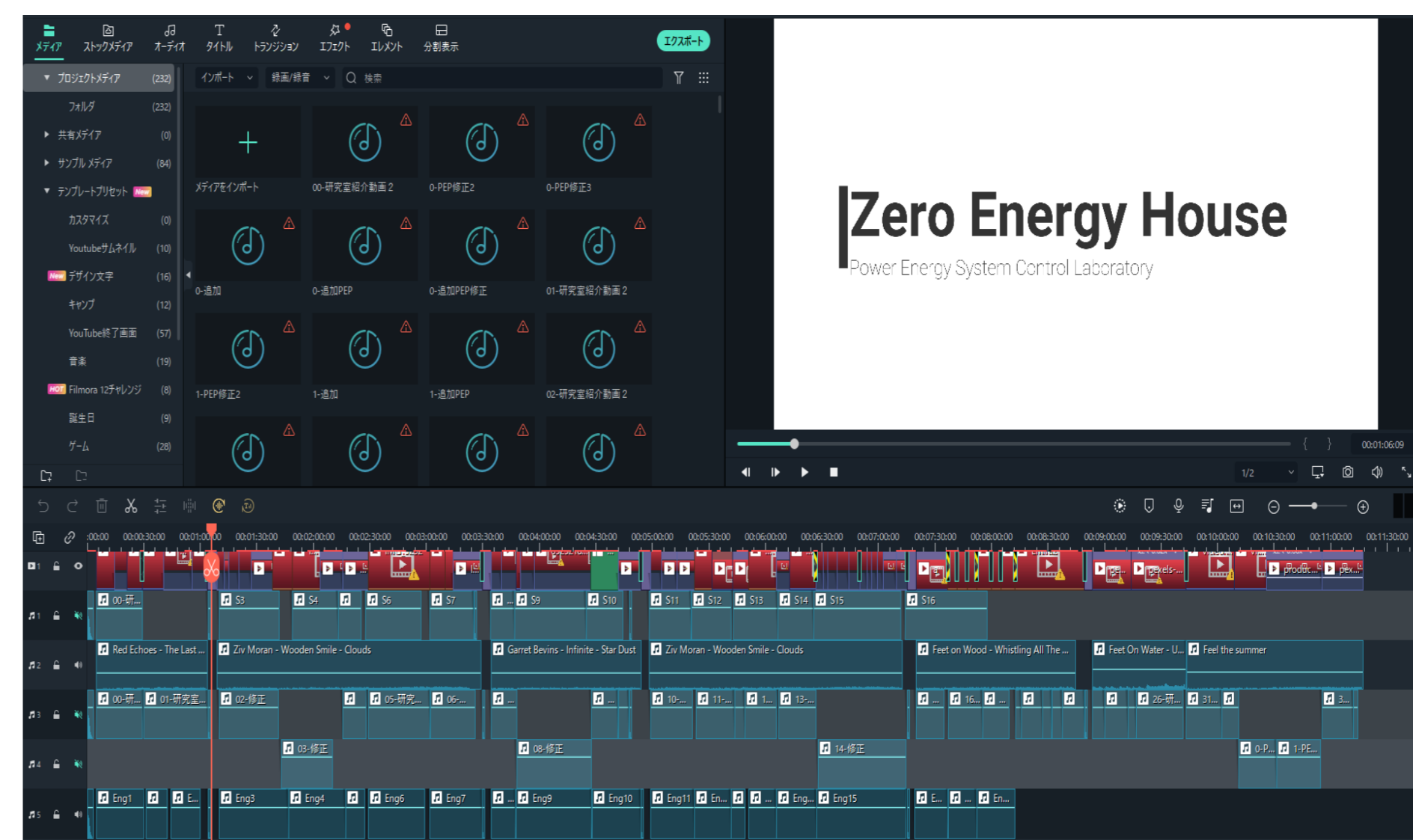
学生ブランチのメリット

- 自主的な事業の運営で、学生本人の自己研鑽の場となる。
- 就職情報等先輩を通じて会社情報を得ることができる。
- 先輩等を通じて、著名な先生方と交流ができる。(講演会等)
- 先輩等を通じて、先端企業、就職関係企業との交流ができる。
- 学生ブランチに貢献があった学生員へ証明書等の配布。
- 教育的・技術的・専門的な情報を入手できる。

学生ブランチ(Student Branch)内での事業

- 電子情報通信学会(IEICE)学生員の増強をはかる。
- 興味ある分野の多彩な事業を実施する。
- 懇親会・OBとの交流会を実施する。
- 本会のサービスを会員に知らせる。

SB活動内容



動画作成の様子



YouTubeでの動画公開の様子

昨年度は、学生ブランチの活動として学会への参加および支援等を行いました。また、学外での活動が困難であり、新たな取り組みとして学生ブランチでの活動の周知するため動画作成を行いました。学会発表ではSBメンバー全員が参加しました。また、学会の運営支援では初めてのオンライン開催となりましたが、SBメンバー全員で協力し、スムーズに運営できました。動画作成では、主にSB内で行われている研究について説明し、SBメンバーの増員を図っています。動画は学部3年生を対象に講義で視聴していただいています。学外での活動が厳しい現状ですが、今後もできる範囲でSB活動を活性化していきたいと考えています。

R5年度活動計画

- 9月:第31回 電子情報通信学会学生会講演会にて論文発表
- 9月:(第76回)電気・情報関係学会九州支部連合大会にて論文発表
- 12月:令和5年度電気学会九州支部沖縄支所講演会にて運営支援および論文発表
- 2月:講演会の開催